



通信 i・ストリーム 11月号



文：小川 康成

朝晩が急激に寒くなりました。

最近、実態数が増えつつありますが、コロナのニュースも下火になってきたようで、感染者の発表もされなくなっていますね。今回のコロナ騒動で、指定感染症扱いになったため、個人が加入している入院保障や、企業が加入している休業補償などの保険でも支払い対象のケースが多く、「保険に加入していて良かった」と多くの方からお声を頂きました。

保険ついて改めて考えてみたいと思います。

老後 2,000 万、現役の場合は??

ある交通事故ケースで、受け取ることが可能な合理的な逸失利益の補償額を見てみましょう。

49 歳・男性（直近の年収 890 万）この方が、相手の有る交通事故で死亡した場合

・慰謝料 2,800 万 ・逸失利益 8,570 万 ・葬儀費 150 万円 **合計 1 億 1,520 万円**

ここから、本人の過失分を除いたものが相手から受け取れる賠償金です。

このように 法律上、受け取るべき額として保障されるのは現役世代では 1 億円～2 億円近くになります。病気の場合でも、残された家族に不自由がないためにはある程度準備したいと思う人が多いのでは無いでしょうか？



世帯主の死亡保険金は 1, 386 万円

令和 3 年の生命保険協会の調べでは、世帯主の平均死亡保障加入額は 1,386 万円となっております。世帯収入が増えるほど、加入している生命保険の保障金額を増やしますが、それでも平均 3,339 万円と上の交通事故の逸失利益 8,570 万円には及びません。



2 つの金額の差は約 5,231 万円と大きな額になっており、病気などの交通事故以外で亡くなくても、残されたご遺族の生活が続くのは一緒のため、必要な保障額は確認しておいた方が良いでしょう。

必要な保障額を確認するためには

個人の方に死亡という事態が発生した場合、必要となる経済的保障は、年齢・職業・収入・家族構成・保有資産などによって様々です。また、同一人物であっても家庭環境やライフイベントの変化によって、必要な保障額は変化していきます。

現時点で必要な保障額を計算し、将来の資金計画を立てることをライフプランニングと言います。一般的にはファイナンシャル・プランナーなどが行う事が多い分野ですが、ライフプランニングによって現在の状況と将来計画のギャップや、問題点などを把握し備えてゆく事が可能になります。計画を立てることは何事でも大切です。

人生のお金の計画を一度立ててみましょう。



弊社では無料でお客様のライフプランニングを作成しております。

また、ライフイベントごとの定期的な見直しも可能です。

必要保障資金を確認して、将来のご希望の生活へ向けて今から準備しませんか？

メンバー 近況報告

大阪遠征してきました！

岩瀬 英之

先日、初めてテニスで遠征に行ってきました。大阪の富田林のコートで行われた団体戦に参加しました。いつもは近場の試合が多いので、試合に出ても半分くらいは知っている人が多くて新鮮さが無いですが、今回は大阪での試合でしたので、さすがに知っている人は居なくて新鮮でいつもより楽しめました。朝8時半に集合だったので、朝4時に起きて、準備して家を5時前には出発しました。今回は、4人の団体戦に参加したみんなと、名古屋駅に集合して車で移動しました。無事開始時間までには到着しましたが、到着早々試合開始となり、みんな体の動きがあまりよくなかったのですが、なんとか初戦勝つことができました。ただ、準決勝になると相手もうまい方達ばかりでしたが勝ち進み、決勝も苦戦しながらも勝つことができました。



優勝の商品は、奈良にある有名な精肉店で3時間くらい並んで買わないといけない店のすき焼き用の和牛が1人1キロでした。冷凍ではない肉だったので、急いで保冷バッグと氷を購入して、厳重な保管で帰ってきました。翌日、友達とすき焼きをして美味しくいただきました。初遠征でしたが、たまには行くのもいいなと思いました。

Bリーグ初観戦！

佐々 夏海

先日初めてプロバスケットボールリーグ（Bリーグ）の試合を見に行ってきました。今回行ったのは刈谷市がホームタウンのシーホース三河と、宮城県の仙台89ERSの試合でした。Bリーグは9月末に開幕したばかりで、私が見に行った試合はシーホース三河の開幕後初のホームゲームでした。そのせいもあってか思っていたよりもたくさんの人が観戦に来ており、試合開始前からアリーナの周辺はグッズショップや食べ物の屋台が出ていて賑わっていました。

試合中は両チームのファンがメガホンを叩いたり、手拍子で応援していてすごい盛り上がりで驚きました。オープニングショーや、クォーター間のイベントなど来場者が楽しめる催し物もあり、始めてでしたがとても楽しめました。試合は前半にシーホース三河がリードされる展開でしたが後半に逆転し、そのまま勝利となりました。開幕から連敗していたシーホース三河のシーズン初勝利となる試合になり、会場も大盛り上がりでした。愛知県にはシーホース三河のほかに名古屋市と豊橋市にもプロチームがあるので、違うチームの試合にも応援に行ってみたいと思いました。



初！！パラグライダー

小川 真紀

娘と二人で高山旅行しました。最初は、街中散策と温泉、おいしい物を食べるゆっくり旅行の計画でしたが、単独フライトが10歳から参加できるツアーをみつけたので、11歳になった娘と初体験してきました。体重制限が30Kg以上となっていたので、少ししか過ぎていない娘は、スタッフに「体が直ぐに浮いちゃうけど、頑張って走ってね」と言われ、直ぐに浮く??何より1~2分のレクチャーだけで始めるとなり、びっくりしました。ポイントは、大股で出来るだけ走る事と言われ、私が参加者4人の1番目飛行で、かなり緊張しましたが、タイミングよく風に乗る事ができて150m飛べたので、凄く気持ち良い空中飛行になり大満足、娘も130m飛べたので、凄く喜んでいました。ランチには、高山駅近くのホテルレストランで「飛騨牛の朴葉味噌焼」を予約して行きました。飛騨牛はとても柔らかくおいしいし、他のメニューも満足なランチでしたが、それに加えてお土産でお菓子と街中のお店などで使える金券が付いているお得な内容でした。街中を散策後は、宿泊するホテルで温泉に入りゆっくりしました。帰りには、せせらぎ街道の紅葉をドライブして帰って来ました。

